

（魅力動画）

（行事案内）

（入会申込みフォーム）

（お問合せ）

同友会って
どういう会？

おきなわ同友会しんぶん

ニライ みらい

2024年（令和6年）
6月号

No. 435

発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広報委員会

〒901-0152
沖縄県那覇市字小嶺1831番地1 沖縄産業支援センター603号
☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

第7次中期ビジョン4年目

第38回
定時総会

中小企業家の挑戦と成長で持続可能な社会をつくろう！

～志を高く持ち、実践は足元から～



第三十八回定時総会が四月二十五日、パシフィックホテル沖縄にて開催され、全体で二一二名が参加しました。

第Ⅰ部の総会議事では一五三名が参加し、石原地江実行委員長の開会宣言でスタート。来賓には沖縄総合事務局の水元圭祐次長、沖縄県の照屋義実副知事、那覇市経済観光部部長の高宮修一氏の三氏を迎え、それぞれ挨拶をいただきました。その後、伊波重矢子氏・小田哲也氏が議長に選出され、議事が進行しました。

活動方針の提案は、十名の各専門委員長・担当正副代表理事が、それぞれにコンパクトに分かり易く提案しました。議案

審議では、出席者より予算案について発言がありました。

第Ⅱ部の記念講演は、一五五名が参加。「同友会運動の新たなステージに向けて」企業づくりと地域づくりの一体とした活動をテーマに中山英敬氏が講師をつとめました。

第Ⅲ部懇親会では、



会場の様子

【同友会運動の成果について】

リーマンショックやコロナ禍により、多くの中小企業が厳しい状況に直面しましたが、同友会運動には次のような成果がありました。

一、経営指針を実践している企業は、立ち直りが早かったこと。

二、東日本大震災では「一社も潰さない、雇用を守る」というメッセージを送り続けた結果、折れかけた経営者を立ち直らせ、例会で学び続けた企業の九割が立ち直ることができたこと。

地域の中小企業が真っ先に商品やサービスを、地域におけるその力の大きさを示した「一人がいなくなると立て直しができない



中山英敬氏

記念講演

同友会運動の新たなステージに向けて

企業づくりと地域づくりの一体とした活動を

（株）ヒューマンライフ代表取締役・同協幹事長 中山 英敬氏



座間味氏

来賓三十一名を含む、一五七名が参加し賑やかに行われました。

冒頭に、第一回理事会で、新しい代表理事に座間味亮氏、副代表理事に一瀬宗也氏・田上カルロ

【企業づくり運動の課題】

企業づくり運動における課題は以下の点です。

一、成果に伴う具体的な行動につながる具体的な行動

二、例会と自社の進捗状況を関連しているか

三、人を生かす総合実践を推進しているか

わが社の例では、子育て中の主婦の観察から子供の視力が落ちてきていることに気づき、子供に必要な健康食品を販売し、新しい市場を創り出すことに成功しました。未経験の主婦がこれまでやったことのないことに挑戦しました。経営者と社員との信頼関係があれば、どんな困難でも乗り越えられると

い。みんなで雇用を守るう」という信念のもと、頑張ってきました。

同友会には実践のためのツールがありますが、それでも社員のやる気になれば成果にはつながりません。社員の労働環境の整備も大切です。

ス氏・赤嶺宏氏・與崎文美氏が選出された報告があり、その後、来賓挨拶を沖縄労働局の柴田栄二郎局長と沖縄県信用保証協会の謝花喜一郎会長からいただき、小渡玲沖縄同友会相談役の乾杯で懇親がスタートしました。

四十五分間の懇親会のため、閉会後も多くの方が名残惜しうに懇親を続

ける姿がありました。（事務局）



賑わいを見せる懇親会

創業 一九九八年一月
社員数 一〇六名
資本金 一千万円

「同友会運動の新たなステージは、企業づくりと地域づくりを一体として取り組むことです。日本全体を動かしている誇りを持ち、大きな課題に挑戦していきましよう」と講演を締めくくりました。（社会保険労務士法人オフィスあるふあ 青山喜佐子）

【地域づくり】

同友会運動により、金融アセスメント法や中小企業憲章などの成果が生み出されました。困難な問題も、みんなで学びながら解決しているのです。中小企業運動は成長し、国や地域を動かしています。その目的は、国民一人ひとりを大切にする豊かな国づくりの大きな目標に向けて進んでいます。

「同友会運動の新たなステージは、企業づくりと地域づくりを一体として取り組むことです。日本全体を動かしている誇りを持ち、大きな課題に挑戦していきましよう」と講演を締めくくりました。（社会保険労務士法人オフィスあるふあ 青山喜佐子）

茶論

視点を変えて、物事はまったく違って見えるものだ。今まで感じられなかったことが、新鮮に感じられるようになる。詩人の金子みすゞ氏の詩「大漁」に、このような表現がある。大羽鰯の大漁の様子を、「浜は祭りの／ようだけれど／海のなかでは／鰯のとむらい／するだろう」と詠んでいる。浜の人間の喜びと海の鰯の悲しみ。「鰯のとむらい」という表現には、すべての生き物への温かい視点が感じられる▼目の位置を変えてみただけで、新鮮な感動を覚えるだろう▼いろいろな角度から物事を見てみる必要があると思う。ある著名な経営者は「顧客のために」ではなく「顧客の立場で考える」ことを、常に強調しているとのこと。大切なことは、顧客が満足することであり顧客の目線で経営しなければならぬと語っている▼物事は上からだと3割だが、下からだと7割が見えるといわれている。事業の最前線は顧客との対話である。経営者を先頭に皆が最前線からの視点で行動することに「こたわり」たい。そこにこそ、会社の伸展もあるのだろう。（仲地 治）



「hyper labo」のメニューは大きく分けて脱毛とフェイシャルの二つ。脱毛は、レディス、メンズ、キッズを対象に紹介制です。脱毛するパーツ



浦崎氏

心を。浦崎さんとお知り合いの男性のVIO脱毛は、浦崎さんではなく別の専門スタッフさんが担

目指すは地域のお母ちゃん！

の分け方も体全体を大きく五分割しただけなので、お母さんが♡。料金は明朗な都度払いです。同友会の男性諸氏にとつて気になるのは、「VIO脱毛は誰がするの？」ってことかも。どうぞご安

ムケアと十日に一度のサロンケアを続けていくことで、皮膚科クリニックに通い続けても治らなかった中学生のニキビが見違えるほど改善しました（写真参照）。ニキビのために活動的なれなかった中高生の女の子たちが、学校生活の中で自分がやれたかったことにど



ニキビに悩む中学生のお客様の改善前(左) 後(右)

と、おれにももらった似顔

んだんチャレンジしていく報告をもらえることに浦崎さんはやりがいを感じ「女の子のニキビ駆け込み寺になりたい！」と意気込んでいます。脱毛のほうでも、プールの授業が始まる前に背中のフサフサをなんとかしてあげたいと思ったお母さんに連れられてきた小学生の女の子。浦崎さんのおかげで楽しくプールに入れるようになったと、おれにももらった似顔

《会社概要》

脱毛サロンハイパーラボ
オーナー 浦崎真理氏
〈那覇支部 西地区〉

住所／那覇市松山1-12-1
TEL／090-1946-1863
事業内容／脱毛美容サロン（脱毛、リラクゼーション美顔）
URL／<https://beauty.hotpepper.jp/kr/slnH000549958/>



「葬儀は人類最高の仕事」と創業者の父が語る事業を継承したのは、報告者である(有)拓商の親泊元隆副社長。警察官だった親泊氏は、上の姉兄が会社を継がない意思表示をしたことをきっかけに、二代目になることを決意。新しい世界でワクワク仕事が始まった反面、社員のルーズ過ぎる



澤岬氏

良い会社を目指してあくなき挑戦

四月十八日、中部支部四月支部例会が沖縄市民会館にて開催され、(株)御菓子御殿の澤岬千秋専務から「商店から組織になるまで」社員と共に外部環境の変化に応じた企業づくり」をテーマに報告が行われました。

澤岬専務は、現社長である澤岬英樹氏と結婚。御菓子御殿恩納店開業に関わります。開店準備の過程で、働くうえでの明確なルールがないことに気づき「会社らしい会社にしたい」との思いで組織改革を敢行。社員からの反発はあったものの組織作りは成功します。その後、本店の改革に挑みますが、澤岬専務についていけないと職員が一气

に六人も退職。従業員との溝は深まりご本人も心身のバランスを崩してしまします。しかし、家族や周囲の助けを借りながら、人材育成や雇用形態の改善などの会社改革を進めました。

ン。キャッシュアウト寸前になり、眠れない日々が続きました。ここで一念発起し、徹底的な内部改革と同時に新たなWEB戦略、ブランドディング等の外部改

革を行うことで、二年で二〇%売上がアップ。自身が作成した企業理念に掲げた、ありがたの空間、を形にした店舗づくりに自信を見せる親泊氏。「葬儀の本質は、死を

視察を通し伊波社長の学びを知る

入会二年未満の会員を対象に構成している「しらす会」では、同友会で学んで会社を成長させた先輩会員企業の視察を定期的に行っています。今回は、四月二十三日に浦西支部幹事長の伊波重矢子社長の(有)フイーチャー企画へ視察に行き、

ご本人曰く「こそ真面目」な澤岬専務ですが、今後の会社の行方や専務の動向がますます気になる



熱心に耳を傾ける参加者



熊野氏

八重山支部学習会 チーム力を発揮するための関係性づくりを学ぶ

八重山支部学習会が四月十九日に大濱信泉記念館で開催されました。「これからの時代に必要チームづくり」と題して(株)子育て支援代表取締役の熊野英一氏が話されました。アドラーの心理学に基づき、共感する力や対話の大切さ、職場だけでなく家庭、親

十四名が参加をしました。(有)フイーチャー企画は、宜野湾市嘉数に会社があり、総合福祉事業「みかん・おれんじグループ」を通して、障がい者もお年寄りも働く社員も地域で暮らす仲間として共に生きていく社会を目指しています。高齢者デイサービスや障がい者通所支援センターなど、それぞれの施設長等に案内してもら



社員から会社内の説明を聞く



集合写真

離島住民割引拡充要請書提出

四月二十五日に宮城光秀代表理事、宮古支部から砂川幸男支部長と友利博明幹事長、八重山支部から宮良高彰支部長、喜納正雄幹事長が県に対して「離島割引運賃拡充要請書」を提出しました。運賃が高い等の理由から島外への大会派遣を断念する児童生徒もおり「機会の平等」の観点からも、飛行機に頼る離島住民の現状を訴えました。現在の四割の低減率を五割に引



き上げるよう求めたのに対し、県交通政策課の平良秀春課長が対応しました。(事務局)

新入局員紹介

はじめまして、4月1日に沖縄同友会事務局に入局しました沖縄国際大学出身の仲宗根崇史と申します。私はここで会員様のサポートに尽力し、経済の活性化に携われるような局員になりたいと思います。



ての力を発揮するための関係性づくりについて確認できました。変化の激しい今だからこそと、山本五十六の「やつてみせ・・・」や、今でこそメジャーリーグとして活躍する大谷翔平選手の学生時代のマンダラチャートなど、今の自分を認めよう高めるかなど、事例も紹介。これからのアクションプランや継続していきたいことなどを参加者でシェアし、終了しました。(事務局)

